

平成31（令和元）年度

事務所だより 第1号

平成31年4月26日

益田教育事務所



平成31（令和元）年度を迎えて ～考え方から見直す～

所長 岡本 昌浩

益田教育事務所長2年目を迎えました。管内の教育のために、微力ながら引き続き努力してまいりたいと思います。

益田教育事務所は、この度の異動で新しく6名（所内指導主事3名、派遣指導主事2名、社会教育企画幹1名）が着任いたしました。新たな気持ちで市町支援や学校支援にあたりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、小学校においては令和2年度、中学校においては令和3年度からの新学習指導要領の全面実施に向けて準備が進められていると思います。また、島根県教育委員会では昨年度末、「教職員の働き方改革プラン」を策定し、先日リーフレット及び事例集を各学校へ配付しました。なお、「島根県 部活動の在り方に関する方針」についても、昨年度2月に示されています。こうしたことから、今年度は、働き方改革を進める中で、教育活動の充実を図っていくことが大きな課題になると思われま

す。この課題を解決するためのポイントは、働き方改革は「考え方の改革」であるという発想をすることだと思えます。たとえば、仕事が多忙であってもやり甲斐があれば多忙感をさほど感じないという言い方を聞くことがあります。しかし、多忙であることが質の高い授業や教育活動に負の影響を与えたり、教職員自身の心身の健康を阻害したりするなら大問題です。平成31年3月18日付け文科省通知「学校における働き方改革に関する取組の徹底について」の中には、「児童生徒等の学びや健全な発達の観点からは必ずしも適切とは言えない業務又は本来は家庭や地域社会が担うべき業務を大胆に削減すること（下線：岡本）」とあります。大胆に削減するためには、これまでの「当たり前」を徹底的に見直し、本来の業務について明確にすることも発想の転換です。

また、前述した「学校業務改善事例集」をまとめた推進委員会委員長の熊丸真太郎先生は、「教職員の働き方改革は『うまくいかなかったら、やり直せばいい』という柔軟で前向きな気持ちを持って取り組んでいくことが大切である」と書いておられます。この発想がなければ、スクラップアンドビルドはできません。つまり、これまで当たり前に行われてきた事業や業務をまずは削減（改革）することを前提に、児童生徒の安全・安心を十分に担保しつつ、できるかぎりの対応策を考え、少しずつ実行するというスタンスです。こうした柔軟な改革によって、教職員一人一人に時間的・精神的な余裕が生まれるとともに、学校経営に対する参画意識を高めることもできるのではないのでしょうか。

学校にとって「時間」は重要な資源（リソース）です。この認識を教職員間でしっかりと共有化しつつ、限られた時間の中でいかにして質の高い教育活動をするのかについて厳しく問われる時代になっていると実感しています。

平成31（令和元）年度 管内研究指定校・指定事業等一覧

事業名		指定校・指定地域	担当者
文 部 科 学 省 関 係			
①	スクールカウンセラー活用事業	管内全小中学校	島田
②	スクールソーシャルワーカー活用事業	益田市 津和野町 吉賀町	
③	生きる力をはぐくむ歯と口の健康づくり推進事業（～R2）	日原中	島田
④	武道等指導充実・資質向上支援事業	高津中	島田
⑤	結集！しまねの子育て協働プロジェクト	益田市 津和野町 吉賀町	田中
	放課後子ども教室		
	地域学校協働活動		
	家庭教育支援		
	外部人材を活用した教育支援		
	地域未来塾に係る学習支援		
県 教 育 委 員 会 関 係			
①	小・中学校少人数学級編制（小学校第1・2年生）	益田小 高津小 吉田小 安田小 西益田小	林
②	小・中学校少人数学級編制（小学校第3学年以上）	益田中 高津小 吉田小 安田小 西益田小	
③	特別な支援のための非常勤講師配置事業 （にこにこサポート事業・通常の学級）	益田小 高津小 吉田小 吉田南小 安田小 鎌手小 西益田小 津和野小 日原小 七日市小 六日市小	福島
④	特別な支援のための非常勤講師配置事業 （にこにこサポート事業・特別支援学級）	益田小 高津小 吉田小	
⑤	「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善プロジェクト事業（～R3）	高津小 日原中	上田 笹井
⑥	自学室等での個別指導の充実に係る非常勤講師配置事業 （学びいきいきサポート事業）	益田中 高津中 東陽中	島田
⑦	中1ギャップ対応非常勤講師配置事業（CST）	益田中	
⑧	小学校における不登校等対応体制充実事業 （子どもと親の相談員配置事業）	益田小 高津小 吉田小	
⑨	学校図書館活用教育研究事業	高津小 益田中	
⑩	学校図書館司書等配置事業	全小中学校	
⑪	複式教育推進指定校事業	青原小	
⑫	しまね数リンピック		
⑬	学びの力向上チャレンジセミナー		笹井
⑭	メディカルアカデミー		笹井
⑮	しまねのふるまい推進プロジェクト	益田市 津和野町 吉賀町	林
	しまねのふるまい体験活動推進事業	未定	福島
⑯	ふるさと教育推進事業	益田市 津和野町 吉賀町	田中
⑰	人権・同和教育地域活性化事業	益田市 津和野町 吉賀町	

益田教育事務所 スタッフ紹介

所長



岡本 昌浩
0856-31-9670

総務課



学校教育 スタッフ



課長
猪俣ゆき子
〈事務総括〉
0856-31-9671



企画員
長本 法恵
〈中学校給与 小学校旅費〉
0856-31-9672



主任
山澤 有未
〈小学校給与 中学校旅費〉
0856-31-9671



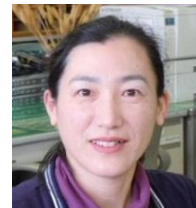
企画幹
林 衛
〈算数/数学、理科、学校経営〉
0856-31-9675



指導主事・企画幹
上田陽一郎
〈外国語活動・外国語、
人権・同和教育、学校訪問指導〉
0856-31-9676



指導主事
笹井 圭子
〈算数/数学、教職員研修〉
0856-31-9673



互助会嘱託
雪村 知子
〈退職会員互助会寮〉
0856-23-2483



事務職員
田原明日美



指導主事
島田さつき
〈生徒指導、国語〉
0856-31-9674



指導主事
福島 淳次
〈特別支援教育、理科〉
0856-31-9673



特別支援教育支援専任教員
三上 純子
0856-31-9606



益田市派遣指導主事
増野 裕章
〈生徒指導等〉
0856-31-0445



益田市派遣指導主事
長島 靖和
〈学力向上〉
0856-31-0445

社会教育 スタッフ



企画幹
田中 茂秋
0856-31-9676



益田市派遣指導主事
江角 しのぶ
〈学力向上〉
0856-31-0445



津和野町派遣指導主事
菊池 貴宏
〈生徒指導等〉
0856-72-1854



吉賀町派遣指導主事
石橋 功子
〈特別支援教育等〉
0856-77-1285



益田市
派遣社会教育主事
谷上 元織
0856-31-0662



益田市
派遣社会教育主事
田原 俊輔
0856-31-0662



津和野町
派遣社会教育主事
佐々木将光
0856-72-1854



吉賀町
派遣社会教育主事
水上 真悟
0856-77-1285



人権・同和教育指導員
井上 和巳
0856-31-9673

総務課より

昨年度に引き続き、学校事務職員人材育成基本方針に沿って、県教委、県教育センターと連携し、「学び続ける学校事務職員」の育成に関わっていきます。

学校現場を支えるため、定型業務とともに次の取り組みを行う予定です。

■学校を知るために

- ・事務グループ活動への参加や、学校を訪問します。



■総務課を知ってもらうために

- ・益田合同庁舎内での事務グループ会等の開催や、教育事務所における実務体験を試みます。

■相互の連携のために

- ・事務リーダー会を開催します。
- ・「新任教頭旅費研修」や「旅費給与実務研修」を実施します。



旅費や給与の実務について、より適正に効率よく業務ができるよう、また、学校事務に関する研修については、各学校や事務グループの実態に合わせたものとなるよう、情報を共有し共に考えていきます。学校訪問や研修についての具体的な日程等は、別途ご案内します。

学校教育スタッフより

今年度も「人材育成」を重点に、取組を推進します！

※ H30年度の学校訪問数 のべ409回（前年度比1.7倍）

特に力を入れていきたいこと

C+：中学校フォローアップ研修プラス

- ・教職経験2～5年目の教員を対象としています
- ・指導主事が継続的に対象の先生方の相談に乗っていきます

「学び続ける教員」の育成につなげます

G-2：相談型学校訪問

- ・年度途中の申請も可能です
- ・授業公開を求めません
- ・指導主事が校内研修のオブザーバーとして参加したり、個々の先生方の授業や学級経営の相談に乗ったりします
- ・詳しくはお配りしたリーフレットをご覧ください

学校のニーズに柔軟に対応します

教育事務所は、学校・教職員の方々にとって、より身近な存在であり続けたいと願っています